

## 持続可能な食料供給と農業投資シンポジウム

今年には日本とインドの外交関係樹立 70 周年に当たります。3月には岸田総理がインドを訪問しインドへの5兆円の投資目標を宣言し、日印間の貿易・投資活動強化のための共同イニシアティブを発表しました。

気候変動やロシアのウクライナ侵略等を背景に、食料の安定供給や持続可能な生産システムへの関心が高まっている中、13億の人口を有し、農業大国であるインドとの食料・農業分野における協力は今まで以上に重要となっています。

このような状況を踏まえ、農林水産省では、インド政府等の関係機関と連携して、官民合同シンポジウムを開催いたします。

インド進出企業等から貿易・投資の最新情報を収集する良い機会となりますので、奮ってご参加ください。

開催日時：2022年11月24日(木) 13:00～17:00 (日本時間)

会場：Le Meridien (インド・ニューデリー)

言語：日本語・英語 (同時通訳)

参加者：日印関係者約 300 名 (オンライン参加は人数制限なし)

(日本側) 農林水産省、在インド日本大使館、JETRO、JICA、JIRCAS、  
日本企業

(インド) 農業・農民福祉省、食品加工省、インド食品安全基準局、  
インド工業連盟、インド商工会議所連合会、インド企業

### <プログラム>

13:00-13:45 オープニングセッション

14:00-16:30 テーマ別セッション (A・Bを同時併行で実施)

**A1** 14:00 -15:10 **インドにおけるビジネス・コラボレーションの強化**

(日印企業のイニシアティブとインドにおけるビジネスの課題)

日本とインドは長いビジネス協力の歴史を持ち、両国の経済に大きな利益をもたらしてきました。本セッションでは、日印間の食料・農業ビジネスのグッドプラクティスやチャレンジ (背景、企業文化、規制の違い等) に焦点を当てます。

登壇者

：

日本貿易振興機構(ジェトロ)

三井物産株式会社 株式会社クボタ

**A 2** 15:20 -16:30 **生産性向上のための新技術及び新たな手法の可能性**

(日印企業の取組みと提案の紹介)

日本とインドの技術力を生かした様々な農業プロジェクトがインド全土で進行中です。本セッションでは、日印のビジネス協力をさらに進めて、生産性向上のための新技術・新手法の可能性に焦点を当てます。

登壇者 : **DENSO**

デンソー・インターナショナル・インド  
守本本部長



サグリ株式会社  
永田最高戦略責任者



TOMATEC 株式会社  
児崎アシスタントマネージャー



**B 1** 14:00 -15:10 **持続可能な食料と農業のグローバルシステムにおける日印の役割**

(研究機関、企業団体等の事例紹介)

持続可能な食料と農業のグローバルシステムの実現のため、本セッションでは、食料・農業分野における日印間の様々な研究協力の事例を紹介いたします。

登壇者 : **JIRCAS** 国立研究開発法人  
国際農林水産業研究センター  
吉橋プロジェクトリーダー



**MV** INTER-FASHION  
MN インターファッション株式会社  
河辺 DX 推進課長



鈴木准教授  
東京農工大学農学部

**B2** 15:20 -16:30 **インド農村部における先進的手法の展開**

(GJ州における「J-Methods 農法」紹介と北東部での協力関係)

本セッションでは、小規模農家に新たな機会を提供する先進的な手法やインドで進行中のプロジェクトを通じて、持続可能な農村開発に向けた官民パートナーシップの新しいアプローチに焦点を当てます。

登壇者 : *J-Methods Farming*

在インド日本国大使館  
保坂二等書記官



JICA インド事務所  
渡边上席駐在員



※ 各セッションにおいてインド側からも同数程度の発表を予定しておりますが、登壇者については現在調整中となっており、確定次第お知らせいたします。

16:45-17:00 クロージングセッション

以上